

## 連合大阪 2008 年度賃金調査の概要

### 1. 全産業の概要

集計したデータは 206 組合、16,598 人です（07 年は 58 組合、ただし製造業の 1 組合は連合体でしたから、単位組合数では 08 年度に匹敵するものであったと思われます。07 年の人数は 14,196 人でした）。1 組合平均 80.6 人となります。

08 年度、組合の産業・規模構成は次のとおりです。

産業	30 人未満	30-99 人	100-299 人	300 人以上	計
製造業	65	52	49	10	176
交通・運輸業	0	1	7	1	9
商業・サービス業	5	8	5	3	21
計	69	61	61	14	206

※データ数については、4 ページ「回答者の構成」をご覧ください。

概要は次のとおりです。

全産業	人数	平均年齢	平均勤続	平均賃金	07 年平均	上昇率
男女計	16,598 人	38.0 歳	13.0 年	277,461 円	282,666 円	-1.84%
男	14,435	38.3	13.1	283,700	287,911	-1.46
女	2,163	36.0	11.8	235,821	240,842	-2.06

構成は、男性が 87.0%、女性が 13.0%です。男女計と男女別にも平均賃金は前年を下回りましたが、平均年齢・勤続とも若干“若く”なっています。

### 2. 産業別の概要

	人数	平均年齢	同勤続	平均賃金	07 年平均	上昇率
製造業・男女計	13,599	37.8	13.2	277,517	283,964	-2.27
同 男	11,785	38.0	13.3	284,002	289,366	-1.65
同 女	1,814	36.2	12.5	235,390	241,748	-2.63
交通・運輸業	883	41.8	14.5	250,246	244,220	2.47
同 男	851	41.8	14.6	251,027	246,787	1.72
同 女	32	39.8	12.8	229,472	195,731	17.24
商業・サービス業	2,116	38.1	10.9	288,455	322,670	-10.60
同 男	1,799	38.7	11.5	297,182	337,767	-12.02
同 女	317	34.3	7.6	238,930	251,965	-5.17

構成比は、製造業が 81.9%、交通・運輸業が 5.3%、商業・サービス業が 12.8%となっています。産業別には、製造業では男女計、男女別にも平均賃金は前年を下回っています。男女計、男女別にも平均年齢・勤続は 1 歳・1 年足らずですが“若く”なっています。交通・運輸業の平均賃金は男女計、男女別とも前年を上回っています。その平均年齢・勤続も上がっています。とりわけ女性の年齢・勤続は大きく上がっています。商業・サービス業の平均賃金は男女計、男女別とも前年を下回っていますが、いずれも年齢・勤続は短くなっています。

### 3. 規模別の概要

規模別にみると次のとおりです。

	人数	平均年齢	同勤続	平均賃金	07年平均	上昇率
30人未満・計	855	41.7	14.6	283,502	321,554	-11.83
同 男	785	41.7	14.7	287,201	339,244	-15.34
同 女	70	42.5	13.0	242,025	247,369	-2.16
30-99人	2,906	38.9	13.7	273,870	282,827	-3.17
同 男	2,561	39.0	13.8	279,830	285,887	-2.12
同 女	345	38.3	12.6	229,625	253,328	-9.36
100-299人	9,075	37.4	13.0	279,418	251,052	11.30
同 男	7,766	37.8	13.2	286,516	255,023	12.35
同 女	1,309	35.2	11.9	237,310	216,620	9.55
300人以上	3,762	37.9	12.0	274,140	285,632	-4.02
同 男	3,323	38.2	12.1	279,275	291,020	-4.04
同 女	439	35.5	10.9	235,263	242,835	-3.12

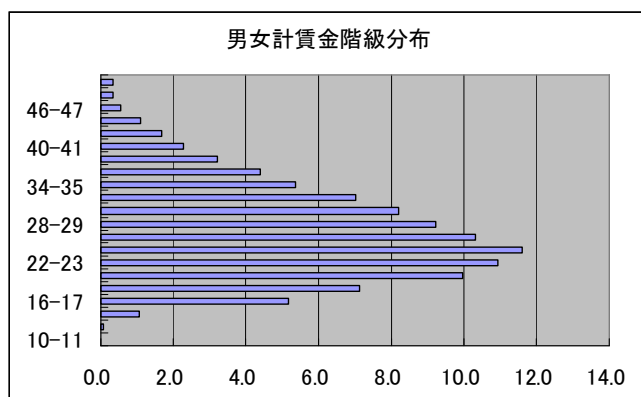
データ件数の構成比は、30人未満が5.1%、30-99人が17.5%、100-299人が54.7%、300人以上が22.7%となっています。規模別には、30人未満は前年を少なからず下回っています。同女性の平均年齢は上がっていますが、その他の平均年齢・勤続は“若く”なっています。30-99人の平均賃金も前年を下回りました。ここでも年齢・勤続が“若く”なっています。とりわけ勤続年数の方が短くなっています。規模100-299人の平均賃金は07年をかなり上回っています。男性の年齢・勤続は若干ですが“若く”なっています。同女性は勤続年数が長くなっています。規模300人以上の平均賃金は前年を下回っていますが、その年齢・勤続は“若く”なっています。ただし、規模300人以上の昨年のデータは冒頭に記したように規模区分不明の連合体を含んでいたことを考慮に入れてください。

### 4. 全産業・男女計の集計と分析

#### (1) 年齢別平均賃金等

全産業・男女計の年齢別賃金階級分布表が5ページにあります。表の右端には賃金の階級幅を1万円としたときの階級ごとの人数（度数）が算出してあります。これを見ると、最も多い（最頻値：モード）のは24万円台（07年は23万円台）で992人です。度数を下から累積していくと20万円未満（19万円台まで）は2,234人、13.5%（昨年は12.4%）です。男性の11.8%（昨年11.3%）、女性の24.4%（昨年20.8%）が20万円未満です、昨年よりその割合は若干大きくなりました。全体の平均賃金は277,461円ですが、賃金分布のちょうど真ん中の値（中位数：メデイアン）は267.8千円（昨07年は273.1千円）でやや低くなっています。試みに四分位分散を計算してみると0.1884で前年の0.1997よりやや小さくなりました。

次のグラフは、賃金階級幅を2万円として再集計し、その分布を割合（％）で示したものです。



※横軸は単位：％、縦軸の単位は万円です。

賃金の階級幅を2万円刻みにしてみると、最も多いのは24～25万円台で11.6%を占めています。男性の最も多いのは同じく24～25万円台で、女性は22～23万円台、17.4%となっています。

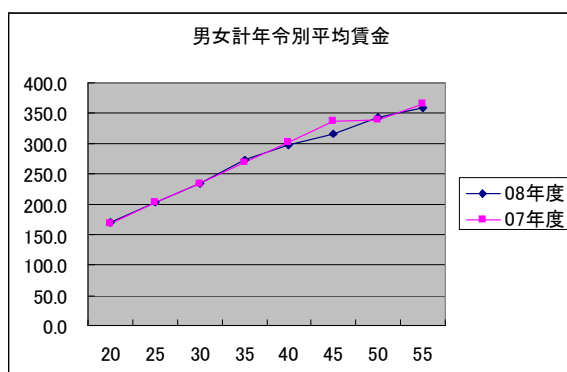
賃金階級分布表には年齢区間20～40歳の全データをとって年齢を説明変数として賃金について1次回帰したときの回帰式の「傾き」、すなわち年齢1歳当たりの平均上昇額が6,643円となることが示してあります（07年度は6,757円）。

## (2) 年齢別賃金特性値

まず、全産業・男女計の年齢別平均賃金を年齢ポイントで観察すると次のとおりです。

年齢	男女計		男		女	
	08年度	07年	08年度	07年	08年度	07年
20	171.2	168.3	171.8	168.6	166.8	164.5
25	203.8	202.3	205.4	203.3	197.1	196.6
30	233.8	233.1	237.8	234.9	209.8	218.2
35	271.8	269.2	276.3	273.9	243.3	242.4
40	298.1	300.6	303.6	305.1	259.1	267.5
45	315.8	335.8	320.6	338.8	277.1	290.0
50	342.0	338.6	347.5	344.8	287.4	293.2
55	358.8	365.5	364.7	374.7	275.5	264.9
全年齢	277.5	282.7	283.7	287.9	235.8	240.8
「傾き」	6,643	6,757	6,878	6,992	4,662	4,771

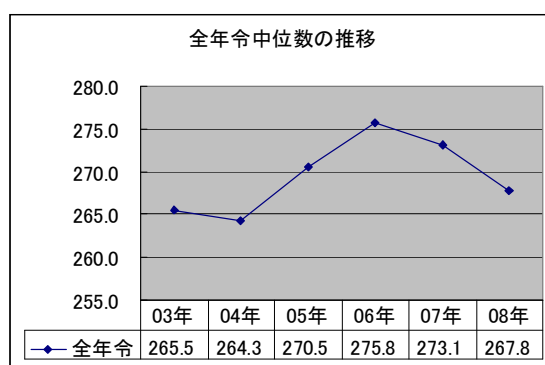
年齢ポイント別の平均賃金は男女計では20歳から35歳までは若干ですが前年を上回っています。40歳ポイントでやや下がり、45歳ポイントだけ2万円差が開いています。50歳、55歳は昨年より低くなっていますがあまり差がありません。男性の場合も同様です。女性の場合は20歳、25歳では前年を上回っていますが、30歳、40歳、45歳と50歳の各年齢ポイントでは前年を下回っています。しかしいずれもその差は小さなものです。



年齢ポイント別中位数をみると次のとおりです。全産業・男女計です。

年齢	08年度	07年度	08-07年 (単位) : 千円
20	170.2	167.8	2.4
25	202.3	203.0	-0.7
30	234.6	232.8	1.8
35	271.0	268.3	2.7
40	297.2	299.7	-2.5
45	318.5	339.9	-21.4
50	336.9	341.1	-4.2
55	369.7	366.0	3.7
全年齢	267.8	273.1	-5.3
年齢係数	6.5623	6.6518	
定数	39.17	35.51	

中位数で見ると、年齢別平均賃金と同様、45歳が大きく下がっています。しかし他の年齢ポイントの前年との差は小さいものです。全年齢中位数の暦年の変化を次にグラフにしてあります。



第1十分位は次のようになっています。

年齢	08年度	07年度	08-07年
20	160.2	158.7	1.5
25	180.7	177.0	3.7
30	194.7	194.4	0.3
35	219.6	215.8	3.8

40	230.5	232.4	-1.9
45	229.2	257.9	-28.7
50	240.4	248.5	-8.1
55	265.6	264.9	0.7
全年齢	191.8	192.9	-1.1
年齢係数	3.8905	3.8667	
定数	81.55	79.14	

第1十分位は今年度45歳で大きく下がり、50歳でも水準が下がっています。しかし、年齢の若い方では上がっています。下段の係数は年齢区間20-40歳で行った1次回帰の結果を示したものです。

年齢ごとの賃金特性値をグラフにして賃金の分布構造を視覚的に示したものが7ページです。箱の範囲内に80%の人が入り、網のかかっている部分には50%の人が属していることになります。このグラフでも45歳に注目してみると、中位数をはさむ50%が属する範囲はその前後の年齢に比べてやや低くなっています。この賃金特性値の中位数と第1十分位、第1四分位を抽出してそれを回帰した結果が8ページです。

### (3) 年齢勤続年数別平均賃金表 -9 ページ-

全データを年齢1歳、勤続1年ごとに区分してその平均賃金を算出してあります。いわば実態賃金傾向値表です。後に男女別にも作成してあります。この表の勤続0年の欄は08年の中途入社者を含む採用賃金の傾向を示しているといえます。いま18歳（ほぼ高卒初任給とみなすことができる）以上の勤続0年の一部を抜き出してみます。

男女計 年齢	男		女		男女計	
	08年度	07年	08年度	07年	08年度	07年
18	164	162	165	163	160	160
20	171	169	170	168	174	177
22	196	193	195	195	198	186

ただし、22歳は必ずしも大卒とは限りません。「高卒標準労働者」等については別に詳しい集計があります。

10ページは9ページの表に対応する人員表です。本調査は必ずしも全数の調査ではありませんから確定的には言えませんが、この勤続0年の欄をみると18歳から39歳まで2桁の新規雇用が行われたことがわかります。41歳と44歳でも2桁の雇用があります。08年度の新規（中途採用を含む）雇用の数は昨07年（勤続1年）よりはやや少ないものの、ほぼ匹敵すると見てよいでしょう。しかし、05年（勤続3年）と比べるとその6割以下です。

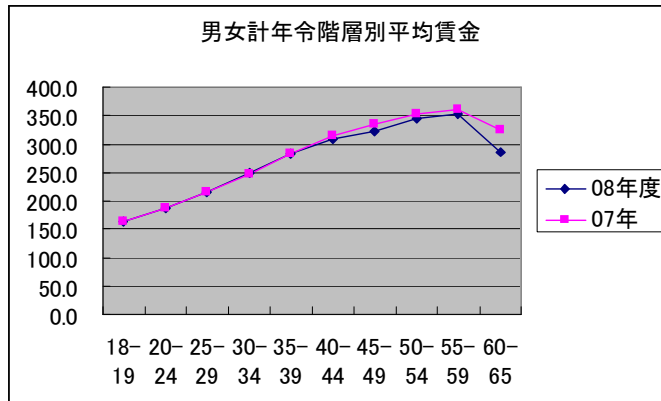
### (4) 年齢階層勤続年数階層別平均賃金表

上記のデータを賃金センサスと同じ区分にして再集計した年齢階層勤続年数別平均賃金表から年齢階層別平均賃金をみると次のとおりです。全勤続です。

年齢階層	男女計		男		女		女/男%
	08年度	07年	08年度	07年	08年度	07年	
18-19	164.8	163.7	165.4	164.0	161.6	159.1	97.7
20-24	187.0	187.6	188.2	188.4	181.2	183.2	96.3
25-29	216.2	214.4	218.2	215.7	206.4	206.3	94.6

30-34	250.5	248.0	254.7	261.4	225.5	225.7	88.5
35-39	284.2	283.1	288.8	287.3	251.2	250.6	87.0
40-44	308.1	313.2	314.1	318.2	264.2	268.8	84.1
45-49	323.3	335.7	329.3	340.8	272.8	275.6	82.8
50-54	346.2	353.7	352.4	358.0	280.4	295.4	79.6
55-59	352.6	361.2	360.9	368.3	273.3	284.7	75.7
60-65	286.5	324.7	294.3	335.4	199.2	229.8	67.7

先に男女計の年齢階層別平均賃金グラフを掲げておきます。



男女計の年齢階層別にみても年齢別平均賃金と同様、45-49歳層が他よりも目立って前年を下回っていることがわかります。そこから上の年齢層では全て前年以下となっていますが、そこまではほとんど前年と重なり合っています。男性の場合も同様です。女性の場合も同じですが、50-54歳から上の年齢層では下がり方がやや大きくなっています。右端には男女の賃金格差を示してあります。

ただしこの調査は組合員のみですから、管理職を含む全従業員を対象（パートタイマーを除く）とするセンサス等の公式統計と比較する場合には注意が必要です。中高年以上では本調査の平均賃金はセンサスなどと比べると低めになることがあります。

年齢階層勤続年数階層別平均賃金表から年齢階層と勤続年数階層の分布を読み取ることができます。勤続年数も1年未満と1-4年の占める割合が男女とも大きくなっています。そして勤続5-9年以上の割合が減っています。これらが全体の平均年齢・勤続年数の動向に影響を与えています。

ここでも、数字の解釈に当たっては調査対象は組合員のみであり、また必ずしも調査参加組合の組合員全員の調査ではないという制約があることを考慮に入れる必要があります。管理職の非組合員を含む全従業員ベースではこれとは異なる構成比になると思われます。

#### (5) 「高卒標準労働者」等

12ページには「高卒標準労働者」、勤続0年の年齢別賃金、35歳実在者の勤続年数別平均賃金が表にしてあります。原データには学歴区分はありませんが年齢マイナス勤続が18の者を「高卒標準」と見なしています。ここでは「高卒標準労働者」だけを見ておくことにします。ただし、データには扶養家族等の条件はありませんから「標準」とはいてもいわゆるモデルではないことに注意してください。

「高卒標準労働者」

年齢	男女計		同 男		同 女	
	08年度	07年	08年度	07年	08年度	07年
18	163,533	162,456	164,707	162,665	160,120	159,947
20	172,312	171,125	173,512	172,269	159,101	161,483
25	198,144	194,862	200,942	195,589	184,507	188,200
30	234,313	229,215	238,663	230,203	200,820	217,358
35	271,569	269,248	275,773	273,777	245,963	249,482
40	296,948	304,129	309,091	308,642	245,679	263,517
45	330,293	338,884	342,934	342,653	288,575	303,085
50	377,111	360,657	388,200	365,850	287,930	293,150
55	385,473	387,564	387,417	391,535	353,069	300,210

次に、勤続0年（採用）賃金を男女別・年齢ポイント別にみておきます。

年齢	男		女	
	08年度	07年	08年度	07年
20	169,689	168,401	174,271	176,910
25	206,788	206,119	208,400	202,053
30	231,986	221,747	179,900	*
35	254,393	251,356	258,200	*
40	281,203	258,065	*	*
45	303,133	347,200	*	*
50	206,560	285,800	243,300	237,800
55	303,715	*	174,570	*

5. 産業別集計

ここでは男女計の年齢ポイント別平均賃金のみを見ておきます。

年齢	製造業		交通・運輸業		商業・サービス業	
	08年度	07年	08年度	07年	08年度	07年
20	171.5	168.4	153.4	162.1	172.3	168.3
25	204.5	204.2	179.9	171.8	204.0	216.3
30	234.0	234.0	206.1	203.8	241.5	248.5
35	270.2	273.5	231.3	222.4	292.3	274.1
40	299.1	304.8	231.6	238.8	315.3	338.7
45	320.8	336.7	252.0	276.9	334.3	381.0
50	349.8	342.0	289.8	298.8	332.2	360.3
55	361.7	365.1	307.7	330.2	357.0	422.7
全年齢	277.5	284.0	250.2	244.2	288.5	322.7
「傾き」	6,628	6,986	3,860	4,085	7,770	7,878

製造業は下段の全年齢の平均賃金が前年を下回っていることが示しているように、年齢ポイント別にみると、40歳、45歳、55歳の年齢の高い方で平均賃金が前年を下回っています。交通・運輸業は今年度、主力は鉄道、道路旅客輸送ですが、25歳、30歳、35歳では前年を上回っています。商業・サービス業の年齢別平均賃金は40歳以上の年齢ポイントで前年を下回っています。これは男女計です。

から詳しくは男女別に見る必要があるでしょう。

## 6. 規模別集計

規模別（男女計）の年齢ポイント別平均賃金は次のとおりです。

年齢	30人未満		30-99人	
	08年度	07年	08年度	07年
20	169.4	—	172.3	161.8
25	201.3	243.6	199.8	192.1
30	232.4	280.9	233.8	238.3
35	267.4	266.3	264.6	257.2
40	281.8	300.1	286.9	303.4
45	306.7	355.1	305.6	319.1
50	347.9	383.3	326.5	337.5
55	358.7	385.1	331.4	433.1
全年齢	283.5	321.6	273.9	282.8
「傾き」	6,039	6,556	6,169	7,769

年齢	100-299人		300人以上	
	08年度	07年	08年	07年
20	171.2	167.7	170.7	168.4
25	205.3	175.8	203.1	205.1
30	233.5	216.2	234.7	234.3
35	275.9	232.1	265.4	274.4
40	302.6	257.1	299.3	306.1
45	316.8	294.7	324.1	340.9
50	347.4	313.6	339.7	339.3
55	379.4	341.4	340.6	365.6
全年齢	279.4	251.1	274.1	285.6
「傾き」	6,975	4,829	6,330	6,954

規模30人未満はとくに35歳で前年をわずかに上回っているほかは、各年齢ポイントとも前年をかなり下回っています。30人未満の規模の組合数が大きく増えるなど、対象の違いが考えられます。30-99人男性の平均年齢・勤続が上がっていることにも見られるように、年齢の高い方で前年を上回っています。30-99人の年齢別平均賃金は20歳、25歳、35歳では昨年より上がっていますが、他は下がっています。100-299人規模の今年度の平均賃金は全年齢平均賃金が示すように、昨年を全面的に上回っています。規模300人以上は20歳と30歳がわずかに昨年を上回っていますが、そこから上の年齢では50歳が若干上がっている他は前年を下回っています。